

# 民報あばしり

NO.843

2011.11.20

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八四三  
四三二、四四五八  
F 四三二、四四五七

## 「原発問題学習講演会」

### 会場いっぱい、熱気あふれる！

日本共産党北見地区委員会は、12日（土）大門実紀史参議院議員を講師に原発問題学習講演会を行いました。会場となった北見市民会館には、会場いっぱい参加者で、熱気にあふれた講演会になりました。

大門参議院議員は、最初に野田内閣の特徵に触れて「構造改革」推進、原発温存、TPP参加、消費税増税など、自民党と何も変わらない内閣であり、正面から対決しなければならぬ。TPP参加問題は、こ



熱心に聞く参加者

れからが本当のたたかいかになる国民世論で協定を断念させるように頑張ろうと呼びかけました。

原発問題では、この間の国会論戦で「浜岡原発は住民の草の根のたたかいかい」と大門議員の質問がきっかけとなり、菅首相が停止を指示した」と、時折ユーモアを交えながら経過が報告されました。

また、泊原発3号機の問題では、再稼働させてはならない

原発であったが稼働になり残念だ。事故が起きたら北海道全体が大変なことになることは福島原発事故で明らかだと述べ、青森県の大間原発も函館から23キロしか離れていない。毒性の強いプルトニウムを燃料とする原発であり、何として中止するたたかいかいしようと呼びかけました。

最後に、参加者との質疑応答が行われ、参加者は、大変分かりやすく良い話を聞けたと感想が寄せられました。

## 道道大観山道線で凍結による追突事故！スピードは控えめに！

### いよいよ東奔西走

「国民の生活第一」を表看板にして政権についた政党の首相とは思われぬTPP参加表明する姿に「この人に国の舵取を任せて本当にいいの？」という気持ちになりました。

野田首相は「国益のために全力を尽くす」「守るべきは守り、攻めるべきは攻める」と「国益」を強調しますが、譲ることのできない「国益」とは何かを語りません。TPPに入ったら得られるという「国益」も、入って失われる「国益」もあいまいなままです。

「国益」も語れないのですから、TPPに入る大義も何一つ語れません。①震災からの復興に最大の妨げになる。②食料自給率50%という政府目標と両立しない。③広範にわたる米国の対日要求が押し付けられる。④「世界の経済成長を取り込む」保証はない。と共産党志位委員長がつけつけた四つの大問題に回答はありませんでした。

このまともに答えない姿勢に対し、マスコミではこれを称して「安全運転」というが、国の舵取としてこれほど国民をバカにしたものはない。心配する国民の声も聞かないし、前もよく見ない！アメリカの言うことしか聞かないで暴走する！もう政権という免許は取り消しです！

今年9月に開通した道道大観山線（通称西山通り）の新光橋付近の凍結により9日早朝、スリップ事故が続出しました。幸い人身事故はなかったものの、数台の車がガードレールなどにぶつかり損傷しました。

現場の新光橋とその付近は、海からの風の通り道なのか朝方の冷え込みにより雨が残るとブラックアイスバーン状態に凍結するため、潮見方面から来るとスピードの加減により右カーブの影響もありスリップが続出したものと思われる。今回、ガードレールに激突した車はもうすこしスピードが出ていれば突き破って崖下に転落もありえていたし、ガードレールの長さも橋の付近だけです。

9月議会でも飯田市議が新道の整備上の課題として指摘したように、谷側沿いにはガードレールを延長するか、ガードロープにしないと崖下転落は防止出来ないのではないかと心配です。

いずれにしても、路線全体のブラックアイスバーン状態を解決する抜本的対策が急がれます。

## 流水

100万キロワット級の原発は1年に約25トンの使用済み核燃料を生み出す。そして広島型原発の実に1千発分の放射能を持つ「死の灰」を作り出す▼炉心が溶融した

福島1、3号機の地震直後、緊急停止した段階で溜まっていた放射能の量は7万2千京ベクレルと推定される。（京は兆の1万倍）外部に放出された量は大気中と汚染水中に1500兆ベクレル、放射性キセノンを加えると原子炉内放射能の約1割が漏れ出す深刻なものだった。▼これらの放射能が北は岩手県中部から、南は静岡県に及ぶおよそ600キロメートルの広大な地域にばらまかれたのである▼横須賀の米軍はメルトダウン（炉心溶融）が起きたと判断、直ちに原子力空母ジョージ・ワシントンをはじめとする軍艦、自衛艦などをあわただしく避難させ、米軍とその家族等9000人が出国、基地にはヨード剤を散布するなどの処置を講じた▼しかし我が国の政府は「直ちに人体に影響を与えるものではない」と口を濁し、福島及び近隣の農作物、神奈川静岡の銘茶などから規定値を超える放射能が検出されて慌て出すなどの醜態を演じ、三陸沖の漁業に影響が心配される。など問題だらけ：▼「復興資金」の名の下に国民に大きな負担を押し付ける前に1日も早く被災地の復興に手を付ける事が責任者、東京電力政府の仕事ではないか。原子力空母ワシントンが横須賀に帰っている。「動く原発が東京湾にいる。原発は要らない。どこにもいらない。（K）」